

2024年1月4日

各 位

株式会社大和証券グループ本社

2024年 中田社長 新春ご挨拶

あけましておめでとうございます。

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。現在も被災地を中心に余震や二次災害の発生など予断を許さない状況が続いております。皆様の安全、並びに被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

昨年は、インバウンド需要を中心に経済の回復が鮮明になるなど、ポストコロナ時代における経済活動が本格的に正常化した一年となりました。金融マーケットは、各国の中央銀行による金融政策が転換点を迎える中、我が国においては、堅調な企業業績、東証による資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の要請、海外投資家による日本株買い等を背景に、日経平均株価は年初来より力強く上昇しました。7月には、33年ぶりにバブル崩壊後の高値を更新するなど、株式市場は本格的な復活の兆しを見せており、今年は長期の上昇モメンタムに向けた足固めの一年になると考えています。

大和証券グループとしては、中期経営計画“Passion for the Best”2023の最終年度であると共に、新たな中期経営計画に繋がる重要な一年となりました。当社グループがこれまで推し進めてきた「資産管理型ビジネスモデルへの移行」と「ハイブリッドビジネスの拡大」を通じた収益構造の多様化・安定化は、実績を伴いながら着実に進展しています。引き続き、外部環境に左右されにくい収益構造の構築に向け、一層邁進して参ります。

今年から始まる新しいNISAや資産運用立国の実現に向けて策定された「資産運用立国実現プラン」など、証券業界を取巻く環境は「貯蓄から投資へ」の流れを後押しするものへと大きく変わっています。特に「資産運用立国実現プラン」は、資産運用業とアセットオーナーに対する改革が新たに盛り込まれています。これまでも、当社グループは、オルタナティブ・アセットを中心に投資家のニーズにあわせた商品ラインナップの拡充や運用力の向上などに取組んできました。今後、さらにグループ一丸となり取組みを加速させることで、我が国の経済の成長と国民の資産所得の増加に貢献していく所存です。

皆様におかれましては、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年も大和証券グループをよろしく願い申し上げます。

以 上